

— 動物薬事情報 (3) —

新たに承認された動物用医薬品

川嶋太喜[†] (農林水産省動物医薬品検査所)

令和6年2月1日付で動物用医薬品である「オルベシール」(ゾエティス・ジャパン(株))が承認されました。

本製剤は、次硝酸ビスマスを主剤とし、乾乳期の乳房炎の予防を効能とする乳房注入剤です。乳房内に投与し、乳頭管を物理的に塞ぐことで、乾乳期における病原体の新規感染を防ぎ、乳房炎の発症を予防することを目的としています。

本剤の主剤である次硝酸ビスマスは、すでに牛を含む多くの動物種に対する経口投与剤として承認されていますが、乳房内に投与して使用するものは承認されておらず、本剤は新しい投与経路の医薬品となります。

また、本製剤の承認内容は、以下のとおりです。

1 品名

オルベシール

2 主成分

次硝酸ビスマス 2.6 g (1容器4g中)

3 使用禁止期間又は休薬期間

食品衛生法第13条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質(対象外物質)であるため設定なし。

4 効能又は効果

牛：乾乳期の乳房炎の予防

5 用法及び用量

乾乳開始時に1乳房当たり1容器を乳頭内に注入

6 使用上の注意(特筆事項)

- 本剤を抗菌剤と併用する場合は、当該抗菌剤について定められた使用禁止期間又は休薬期間に従うこと。

7 貯蔵方法

気密容器

8 動物用医薬品等データベース<https://www.vm.nval.go.jp/>

[†] 連絡責任者：川嶋太喜(農林水産省動物医薬品検査所 企画連絡室審査調整課)

〒185-8511 国分寺市戸倉1-15-1 ☎042-321-1841(代表) E-mail: nval_ippanyaku@maff.go.jp